

中学校音楽科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点								
1	1 ※ 別紙 (計1枚)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×4								
	2 ※ 別紙 (計1枚)		10								
	3 ※ 別紙 (計1枚)	問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 正確で読みやすい記譜の表記であること。 演奏が可能な音域で創作されていること。 創造性豊かな表現の工夫が見られること。(リズム, 旋律の変化, 和音の変化など) 旋律から、楽曲のもつ特徴や雰囲気を理解し、適切な速度、強弱、表現の方法を設定していること。(速度記号, 強弱記号, 発想記号等の表記)	40								
2	<p>題材名(「ブルタバ(モルダウ)」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、情景を想像しながら音楽のよさや美しさを味わおう)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>学習活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ オーケストラの楽器の音色、旋律、速度、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する。 ・音楽を聴き取りながら、音色、旋律、速度、強弱の意味などを教師の説明を聞いて理解するとともに、「どのような感じの音楽か」「それは音楽のどんどこからか」をワークシートに書き、発表し合う。 ・「ブルタバの主題」と「ブルタバ、広々とした流れ」の標題の部分の音楽を比較しながら聴き、2つの旋律の違いや、それによって生み出される曲想の違いをワークシートに書き、発表し合う。 ・「ブルタバの主題」と「ブルタバ、広々とした流れ」の2つの旋律の特徴の違いや、それによって生み出される曲想の違いを確認しながら、楽曲全体を通して聴く。 </td> </tr> <tr> <td>第2時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情景の変化を曲想と関わらせて聴く。 ・「ブルタバ(モルダウ)」の各標題について教師の説明を聞き、「ブルタバ(モルダウ)」がえがく様々な情景を思い浮かべる。 ・楽曲全体を聴き、「ブルタバ(モルダウ)」の情景を表すために、作曲者がどんな工夫をしたのか、気付いたことをワークシートに書き、話し合う。 ・「ブルタバ(モルダウ)」の各標題の音楽の特徴についてまとめる。 </td> </tr> <tr> <td>第3時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習を振り返りながら「ブルタバ(モルダウ)」の紹介文を書き、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・「ブルタバ(モルダウ)」の音楽について、「自分が気に入ったところなど、ぜひ他の人に紹介したいこと」を紹介文にまとめる。その際、「楽曲全体を聴いて、音楽から想像したことや感じ取ったこと」と「その理由」を含めて書く。また、「その理由」については、音色、旋律、速度、強弱のうちから少なくとも3つの言葉を用いる。 ・紹介文の内容を基に意見交換し、改めて「ブルタバ(モルダウ)」を鑑賞する。 </td> </tr> </tbody> </table>	時間	学習活動	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ オーケストラの楽器の音色、旋律、速度、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する。 ・音楽を聴き取りながら、音色、旋律、速度、強弱の意味などを教師の説明を聞いて理解するとともに、「どのような感じの音楽か」「それは音楽のどんどこからか」をワークシートに書き、発表し合う。 ・「ブルタバの主題」と「ブルタバ、広々とした流れ」の標題の部分の音楽を比較しながら聴き、2つの旋律の違いや、それによって生み出される曲想の違いをワークシートに書き、発表し合う。 ・「ブルタバの主題」と「ブルタバ、広々とした流れ」の2つの旋律の特徴の違いや、それによって生み出される曲想の違いを確認しながら、楽曲全体を通して聴く。 	第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情景の変化を曲想と関わらせて聴く。 ・「ブルタバ(モルダウ)」の各標題について教師の説明を聞き、「ブルタバ(モルダウ)」がえがく様々な情景を思い浮かべる。 ・楽曲全体を聴き、「ブルタバ(モルダウ)」の情景を表すために、作曲者がどんな工夫をしたのか、気付いたことをワークシートに書き、話し合う。 ・「ブルタバ(モルダウ)」の各標題の音楽の特徴についてまとめる。 	第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習を振り返りながら「ブルタバ(モルダウ)」の紹介文を書き、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・「ブルタバ(モルダウ)」の音楽について、「自分が気に入ったところなど、ぜひ他の人に紹介したいこと」を紹介文にまとめる。その際、「楽曲全体を聴いて、音楽から想像したことや感じ取ったこと」と「その理由」を含めて書く。また、「その理由」については、音色、旋律、速度、強弱のうちから少なくとも3つの言葉を用いる。 ・紹介文の内容を基に意見交換し、改めて「ブルタバ(モルダウ)」を鑑賞する。 	<p>題材名は、問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 学習活動は、内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p>	30
時間	学習活動										
第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ オーケストラの楽器の音色、旋律、速度、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する。 ・音楽を聴き取りながら、音色、旋律、速度、強弱の意味などを教師の説明を聞いて理解するとともに、「どのような感じの音楽か」「それは音楽のどんどこからか」をワークシートに書き、発表し合う。 ・「ブルタバの主題」と「ブルタバ、広々とした流れ」の標題の部分の音楽を比較しながら聴き、2つの旋律の違いや、それによって生み出される曲想の違いをワークシートに書き、発表し合う。 ・「ブルタバの主題」と「ブルタバ、広々とした流れ」の2つの旋律の特徴の違いや、それによって生み出される曲想の違いを確認しながら、楽曲全体を通して聴く。 										
第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情景の変化を曲想と関わらせて聴く。 ・「ブルタバ(モルダウ)」の各標題について教師の説明を聞き、「ブルタバ(モルダウ)」がえがく様々な情景を思い浮かべる。 ・楽曲全体を聴き、「ブルタバ(モルダウ)」の情景を表すために、作曲者がどんな工夫をしたのか、気付いたことをワークシートに書き、話し合う。 ・「ブルタバ(モルダウ)」の各標題の音楽の特徴についてまとめる。 										
第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習を振り返りながら「ブルタバ(モルダウ)」の紹介文を書き、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・「ブルタバ(モルダウ)」の音楽について、「自分が気に入ったところなど、ぜひ他の人に紹介したいこと」を紹介文にまとめる。その際、「楽曲全体を聴いて、音楽から想像したことや感じ取ったこと」と「その理由」を含めて書く。また、「その理由」については、音色、旋律、速度、強弱のうちから少なくとも3つの言葉を用いる。 ・紹介文の内容を基に意見交換し、改めて「ブルタバ(モルダウ)」を鑑賞する。 										

中学校音楽科採点基準

2枚のうち2


【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
3	1	(a)	(エ)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 2	30
		(b)	(イ)			
	2	(ウ)	5			
	3	(1)	歌の前後、または歌に合わせてはさみ込む掛け声の一種。		各 5 × 3	
(2)		曲頭のフレーズを独唱あるいは独奏し、それに続いて、多数の人数の人たちが同時に演奏する形式。				
(3)		歌い手が即興的につける、細かい装飾的な節回し。				
4	曲にふさわしい音色を工夫したり、レガートなどのアーティキュレーションを生かした奏法を工夫したりする学習活動。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		
5	1	(ア)	滝廉太郎	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 2	22
		(イ)	團伊玖磨			
	(2)	(a)	交響楽団		各 3 × 2	
		(b)	図形楽譜			
2	情景に合った歌唱の表現をするために、どの程度の音量、どのような音色、言葉の発音で歌ったらよいか、試行錯誤させ、よりよい表現の方法を見いださせる。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		
6	1	(ア)	仏教儀式で僧侶が唱える声楽。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 4	28
		(イ)	ドイツ語による芸術歌曲。			
		(ウ)	荘厳に。			
	(エ)	ある一定の音型を、楽曲全体を通じて、あるいはまとまった楽節全体を通じて、同一声部で、同一音高で、絶えず繰り返すこと。				
2	(ア)	楽 曲 名 アラmfエス協奏曲	作 曲 者 名 ロドリゴ	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 4	
	(イ)	楽 曲 名 牧神の午後への前奏曲	作 曲 者 名 ドビュッシー			
7	授業の中で表現したり鑑賞したりする多くの楽曲について、それを創作した著作者がいることや、著作物であることを生徒が意識できるようにすること。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		

1

1

(ア) (イ) (ウ) (エ)



2

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

3

Andante maestoso

